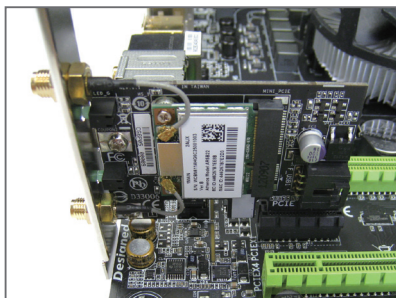
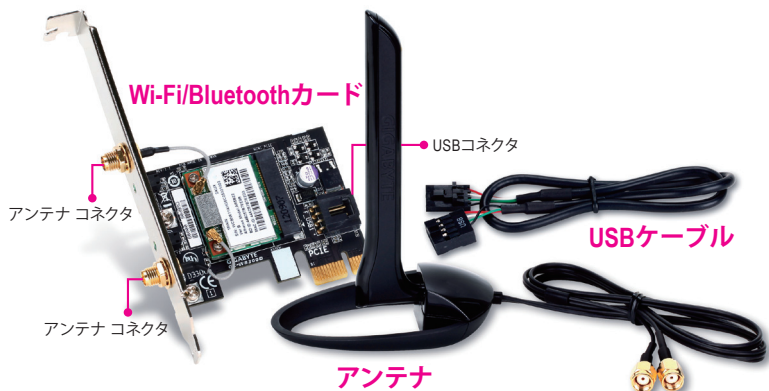


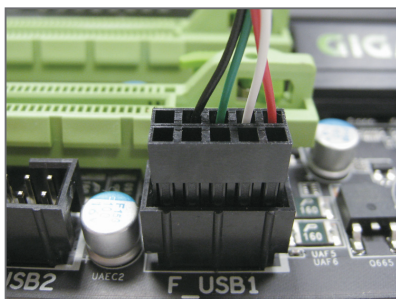
# GC-WB300D GC-WB300

ユーザースマニュアル

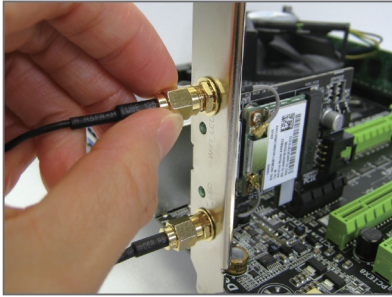
# 第1章 Wi-Fi/Bluetoothカードの取り付け



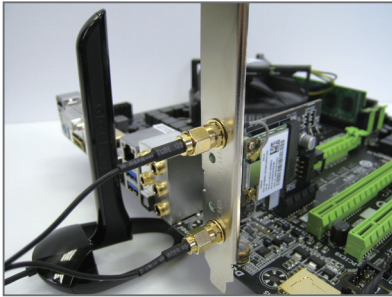
ステップ 1:  
Wi-Fi/Bluetooth カードを PCI Express x1 スロットに装着します。USB ケーブルの一方の端を Wi-Fi/Bluetooth カードの USB コネクタに接続します。



ステップ 2:  
USB ケーブルのもう一方の端をマザーボードの F\_USB コネクタに接続します。



ステップ 3:  
アンテナケーブルをそれぞれ Wi-Fi/  
Bluetooth カードのアンテナ コネクタに  
ピンと張るように接続します。



ステップ 4:  
次に、信号が良好な場所にアンテナを  
移動します。

## 第2章 ドライバとユーティリティをインストールする

### 2-1 ドライバとユーティリティをインストールする

Wi-Fi/Bluetoothカードの取り付け後、ドライバとオペレーティングシステムのユーティリティをインストールします。付属のドライバディスクを挿入し、自動実行画面が表示されたら、リストされている項目をすべてインストールします。オンスクリーンの指示に従って表示されたドライバとユーティリティを順番にインストールします。




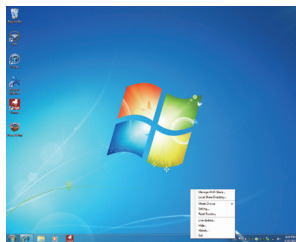
### 2-2 Wi-Fi Share Utilityを使用する

Wi-Fi Share Utilityにより、Wi-Fi/Bluetooth カードの動作方法を設定できます。まず、お使いのコンピューターを仮想無線アクセスポイント(Hotspot)にします。これにより、WiFi対応コンピューターまたは携帯デバイスが仮想無線アクセスポイントを通してインターネットにアクセスできるようになります。2番目に、お使いのコンピューターから対象のコンピューターにデータをドラッグすることで、お使いのコンピューターが他のコンピューターとデータ共有するよう構成することができます(File Transfer)。3番目に、まさに通常の無線LANカードとして使用できます(WiFi)。



Wi-Fi Share UtilityはWindows 8/7のみでサポートしています。

インストール後、Wi-Fi Share アイコン  が通知エリアに表示されます。このアイコンを右クリックして構成オプションを表示させます。



#### オプションの説明

オプション	説明
Manage Wi-Fi Share	Wi-Fi Share Managerを開きます
Local Share Directory	共有ファイルがあるディレクトリに移動します(File Transfer)
Mode Choice	操作するモードを選択します
Setting	選択したモードによって詳細設定を行います
Reset Router	Wi-Fi Share Utilityをリセットします
Live Update	Wi-Fi Shareをオンラインでアップデートします
Help	ヘルプファイルを表示します
About	Wi-Fi Shareのバージョンを表示します
Exit	Wi-Fi Shareを終了します

## モード選択


Wi-Fi Share には、ユーザーが選択する次の3つのモードがあります。

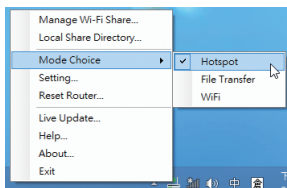
### A. Hotspot

Hotspotでは、お使いのコンピューターを仮定の無線アクセスポイント (WAP) にします。詳細構成は、以下のステップを参照してください。

#### コンピューターの設定:

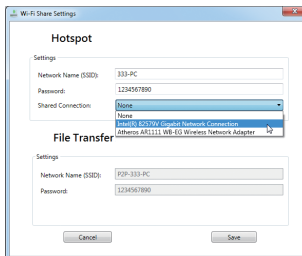
ステップ 1:

通知エリアで **Wi-Fi Share** アイコン  を右クリックしてから、**Mode Choice > Hotspot** を選択することで、お使いのコンピューターを仮定の無線 AP にします。次に **Setting** を選択します。



ステップ 2:

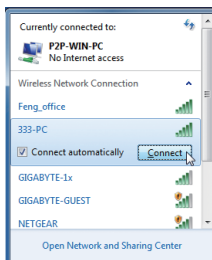
**Wi-Fi Share Settings** ダイアログボックスが表示されたら、**Share Connection** リストから共有する現在稼働中のネットワーク接続を選択します。続いて **Save** をクリックします。**Password** は、他のコンピューターが仮想無線 AP を通じてインターネットにアクセスする場合に必要なネットワークのセキュリティキーを表します。既定のパスワードを保持するかまたは新規作成します。



#### 仮想無線 AP を通じてインターネットにアクセスするコンピューターを構成します:

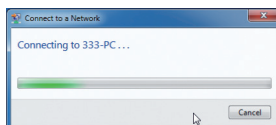
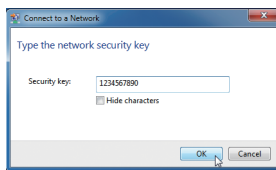
ステップ 1:

通知エリアにある **Internet Access** アイコンを左クリックします。**Currently connected to** リストが表示されたら、接続する仮想無線 AP を選択して **Connect** をクリックします。



ステップ 2:

**Connect to a Network** ダイアログボックスが表示されたら、仮想無線 AP が共有するネットワーク接続のセキュリティキーを入力してから **OK** をクリックします。



ステップ 3:


接続したら、**Currently connected to** リストに、現在このコンピューターが仮想無線 AP が共有しているネットワーク接続を使用中であることが表示されます。

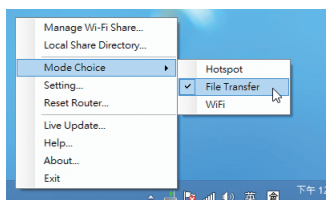


## B. File Transfer

File Transfer では、File Transfer の2台のコンピューターでファイルの相互共有を有効にすることができます。注: File Transferを使用する前に、必ず両方のコンピューターのファイアウォールをオフにしてください。

ステップ 1:

2台のコンピューターにWi-Fi Share Utility がインストール済みで、Wi-Fi Share Modeが有効であることを確認してください。接続元のコンピューターのデスクトップで、通知エリアにあるWi-Fi Shareアイコンを右クリックして、**Mode Choice > File Transfer**を選択します。次に、**Manage Wi-Fi Share**を選択してWi-Fi Share Managerを開きます。



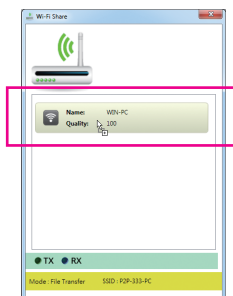
## ステップ 2:

Wi-Fi Share Manager は、File Transfer が有効な他方のコンピューターを表示します (対象コンピューター)。



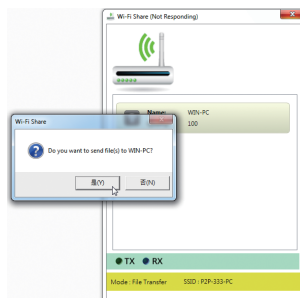
## ステップ 3:

共有するファイル/フォルダが位置するディレクトリに移動します。Wi-Fi Share Manager に表示された対象コンピューターにファイルまたはフォルダをドラッグします。



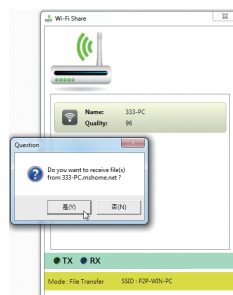
## ステップ 4:

ファイルまたはフォルダを対象コンピューターに送信するかをたずねられたら、**Yes** をクリックします。ファイルまたはデータの送信中は **TX** ライトが点灯します。



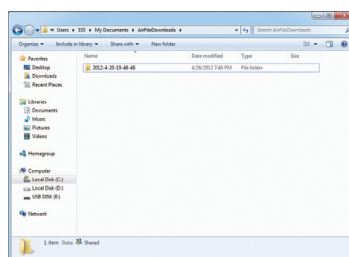
#### ステップ 5:

対象コンピューターにも、接続元コンピューターからのファイルまたはフォルダを受け付けるかをたずねる確認メッセージが表示されます。確認するには **Yes** をクリックします。15秒以内に応答する必要があります。ファイルまたはデータの受信中は **RX** ライトが点灯します。



#### ステップ 6:

データは、対象コンピューターの **My Documents**\**AirFileDownloads** ディレクトリにあるフォルダに自動的に格納されます。フォルダ名は、受信時間によって命名されます。後に直接このディレクトリにアクセスするには、通知エリアにある **Wi-Fi Share** アイコンを右クリックして **Local Shared Directory** を選択することもできます。



### C. WiFi

このモードでは、Wi-Fi/Bluetooth カードが通常の無線 LAN カードに設定されています。また、インターネット接続をする無線アクセスポイントに接続する必要があります。



## 2-3 Cloud Station Utilityを使用する

Cloud Station utility により、GIGABYTE の iOS APP は通信、リソース共有、およびお使いのデスクトップ PC システムの制御を行えるようになります。2つの GIGABYTE 固有の iOS APP、EasyTune Touch と PictureView が入手可能です。いずれも Apple Store から無料でダウンロードできます。

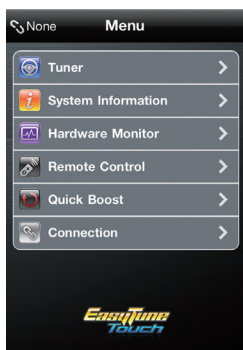
### システム要件:

- Windows 8/7
- iTunes
- iPhone 5、iPhone 4、iPhone 3、およびiPadシリーズ  
(iPhone 3 と iPad シリーズは Wi-Fi 接続のみをサポートしています。)

### EasyTune Touch:



EasyTune Touch は、iPhone や iPad を含む Apple 社デバイスを通してシステムを遠隔制御できるようにするシンプルで使いやすいアプリケーションです。機能詳細は次のとおりです。



### オプションの説明


オプション	説明
Tuner	CPUまたはメモリの周波数と電圧設定を変更することができます。
System Information	CPU、マザーボード、およびメモリを含むシステム情報を表示します。
Hardware Monitor	ハードウェアの温度、電圧、およびファン速度を監視できるようになります。
Remote Control	お使いのコンピューターを再起動またはシャットダウンすることができます。
Quick Boost	3レベルの自動システム調整を行います。
Connection	iPhoneまたはiPadとお使いのコンピューターとの接続方法を選択します。

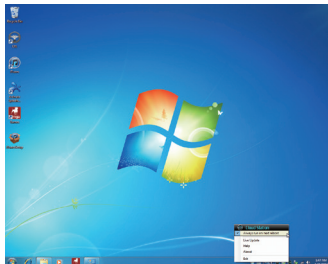
### PictureView:



PictureView アプリケーションは、iOS デバイスから直接コンピューターに、迅速に無理なく写真を共有できるように設計されています。iOS デバイスの写真ライブラリから写真を選択するだけで、ユーザーはそれらを PC デスクトップで即時に見ることができます。

## Cloud Stationを使用する:

Cloud Station Utility のインストール後、Cloud Station アイコン  が通知エリアに表示されます。このアイコンを右クリックし、**Always run on next reboot** を選択することで、コンピューターを再起動するたびにこのユーティリティが起動するようにします。iPhone または iPad で EasyTune Touch と PictureView を使用するには、先にコンピューターで Cloud Station Utility を起動する必要があります。

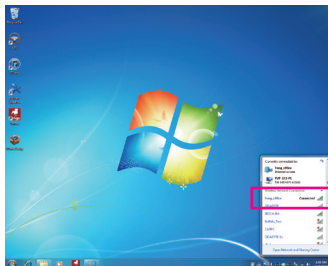


## 3つの接続方法:

EasyTune Touch と PictureView を使用する前に、3つの方法 (Wi-Fi、Bluetooth、および USB 接続)のうち1つを用いてお使いのAppleデバイスを対象コンピューターに接続します。iPhone 3 と iPad シリーズは Wi-Fi 接続のみをサポートし、iPhone 4 シリーズは3つの接続すべてをサポートしています。以下では iPhone 4 を Apple のデモデバイスとして使用します。(必ず先に iTunes をインストールしてください。)

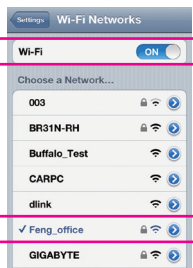
### A. Wi-Fi 接続:

iPhone とコンピューターが同じネットワーク接続を用いていることをご確認ください。  
ステップ 1:  
コンピューターがネットワークに接続されていることをご確認ください。



### ステップ 2:

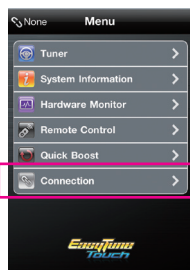
iPhone で、**Settings > Wi-Fi** に進み、Wi-Fi 機能をオンにします。次に、現在コンピューターが使用しているネットワーク接続と同じネットワーク接続を選択します。



## EasyTune Touchを使用する

### ステップ 1:

お使いの iPhone で、EasyTune Touch のメインメニューに移動します。**Connection** を選択します。



### ステップ 2:

**Connection** ページで **Wifi** を選択します。

iPhone は、同じネットワーク接続を用いてコンピューターの検索を開始します。コンピューターが表示されたら、それを選択します。EasyTune Touch アプリケーションのメインメニューに戻ります。これで、EasyTune Touch 機能を使用して iPhone 経由で対象コンピューターを遠隔制御したり、ハードウェア情報をチェックすることができます。



## PictureView を使用する

### ステップ 1:

PictureView アプリケーションのメインメニューに進みます。フォトギャラリーで **Connect** を選択します。



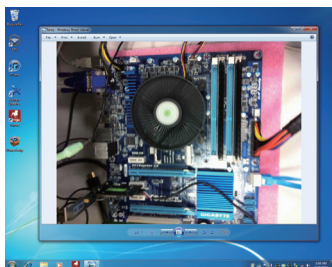
### ステップ 2:

**Connection** ページで **Wifi** を選択します。

iPhone は、同じネットワーク接続を用いてコンピューターの検索を開始します。コンピューターが表示されたら、それを選択します。次にフォトギャラリーに戻ります。



ステップ 3:  
共有する写真をクリックすると、対象コンピューターのデスクトップにリアルタイムに表示されます。

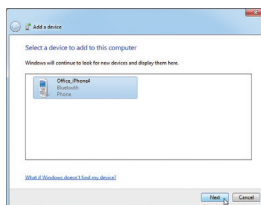


## B. BlueTooth 接続:

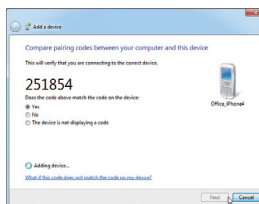
ステップ 1:  
iPhoneで、**Settings > Personal Hotspot** に進み、この機能をオンにします。続いて **Settings > General > Bluetooth** へ進み、Bluetooth をオンにします。



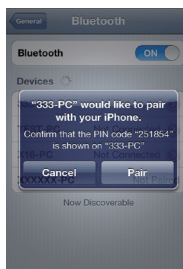
ステップ 2:  
ここで iPhone とコンピューターをペアにする必要があります。コンピューターのオペレーティングシステムで、**Control Panel > Devices and Printers** に進みます。Add a device を選択します。コンピューターは Bluetooth デバイスを探し、画面上に表示します。iPhoneが表示されたら、それを選択して **Next** をクリックします。



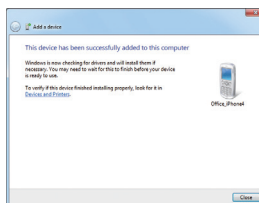
ステップ 3:  
ペアリングコードが画面上に表示されます。**Next** をクリックします。iPhone にも、確認のためペアリングコード付きメッセージが表示されます (次のスクリーンショット参照)。



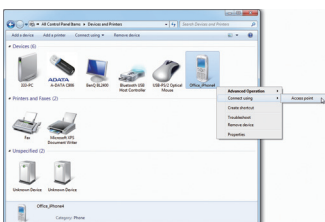
ステップ 4:  
iPhone がペアリングコードを表示したら、**Pair** を押して確認します。ペアリングが成功すると、iPhone はコンピューターに接続したことを表示します。



ステップ 5:  
コンピューターでは、iPhone がコンピューターに正常に追加されたことが表示されます。**Close** をクリックして **Control Panel > Devices and Printers** 画面に戻ります。



ステップ 6:  
iPhone デバイスを探し、右クリックして **Connect using > Access Point** を選択して構成を完了します。

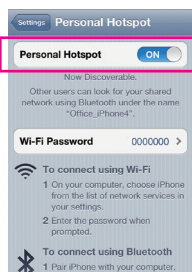


これで EasyTune Touch または PictureView を使用する準備ができました。構成の Wi-Fi 接続の使用説明を参照し、**Bluetooth** 接続を選択します。

## C. USB 接続:

ステップ 1:

iPhone で、**Settings > Personal Hotspot** に進み、この機能をオンにします。

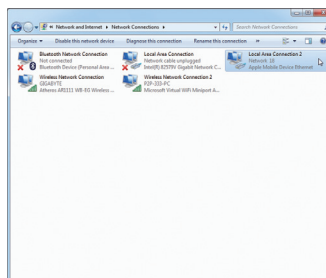


ステップ 2:

iPhone の USB ケーブルを用いて iPhone をコンピューターに接続します。

ステップ 3:

iPhone がコンピューターに接続されたら、**Control Panel > Network and Sharing Center > Change adapter settings** に進みます。Apple Mobile Device Ethernet が存在することを確認します。存在しない場合、接続を再チェックします。



これで EasyTune Touch または PictureView を使用する準備ができました。構成の Wi-Fi 接続の使用説明を参照し、**USB 接続** を選択します。